

○ 調査問題

港に一せきの大きな船が停泊して
います。それは、世界中の観光地
をめぐることができるごうか客船
です。

4 次の文の——線部は何を指して
いますか。文章中より書きぬき
ましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

「指示語の役割を理解し、指示語の指す内容を理解しているかどうかをみる」問題

【問題内容】 指示語の示す内容を文章中から書き抜く。

【作成の趣旨】 この問題は、指示語「それ」の指す言葉を理解できているかをみる問題である。

指示語を理解し、指示語の示す内容を正しくとらえる力は、説明的文章などを読み解く上で必要不可欠な力である。そのため、特に使用頻度の高い「それ」の指す内容を聞く問題を設定した。

○ 誤答分析

解答類型 出題のねらい	正答	無回答	その他	その他に含まれる 「頻出の誤答例」
指示語の示す内容をとらえることができる。	47.5%	8.2%	44.3%	客船 (16%) ごうか客船・ごうかな客船 (15%) 世界中の観光地 (11%)

- 「書き抜く」という設問に不慣れなために、「一せきの船」のように「大きな」を省略してしまったり、「港に一せきの大きな船」と余計なものを書いてしまったりした解答や、「大きな船のこと」のように抜き書きができていない誤答が見られた。
- 文章中で使われる指示語（文脈指示）は、多くの場合、その前に書かれていることを指し示すが、後ろから選んでいる誤答や、「それ」という物事を指し示している指示語でありながら、場所である「世界中の観光地」という誤答も見られた
- 指示語は日常会話の中で無意識に使われ、児童にとって実際には身近なものであると思われるが、改めて問われると戸惑いを感じる児童も多いことが分かる。読む活動や書く活動において、指示語の役割や指示語の示す内容を理解させ、意識的に使えるよう指導する必要がある。

○ 指導上のポイント

○ 指導の際は、現場指示か文脈指示か、さらに、文脈指示でも談話か文章かによって、使い分けの特性がやや異なることに注意する。

- ・現場指示とは・・・談話の場で、実際に目の前にあるものを指し示す用法。
- ・文脈指示とは・・・談話や文章中にある（文脈上の）言葉や内容を指し示す用法。

「現場指示」に注目した指導

【友達と「こそあど言葉」を使ってやりとりをしてみよう】

① 「こそあど言葉」を思い出し、表にまとめる。

（大枠だけ作っておくか、板書してみんなでまとめる。）

② できるだけ多くの「こそあど言葉」を使い、友達と会話する。

あそこの本棚にある
あの本、取ってくれる？

どれ？

ああ、この本ね。
はい、これどうぞ。

あの青い表紙の本だよ。

○ 話し手と聞き手との距離によって、指示語が使い分けられることを確認する。

○ 発表は動作化を入れると、より理解を深めることができる。また、指し示しているものが共有されているか注意しながら、正しく使うようにさせる。

「文脈指示」に注目した指導

【文章中から「こそあど言葉」を探してみよう】

① 本文から指示語を抜き出す。（まずは印を付け、そのまま書き抜かせる。）

② 本文中の指示語が指し示しているものを抜き出す。（①と同様、印を付けたり線を引いたりする。）

③ 指示語と指し示しているものを入れ替えても、意味が通じるか確認する。

○ 談話における文脈指示では、対象を相手が知っている（と思われる）か、知らない（と思われる）

○ 文章中で使われている指示語は、多くの場合、その前に書かれていることを指している。

○ 指し示している部分を指示語のところに入れ替えて読んでも、意味が通じる。

○ 指示語（「こそあど言葉」）は、教科書では第3学年から取り扱うが、第1学年から説明的文章や物語的文章を学習する際、また、文章を書いたり、話をしたりするときにも、折に触れて関連させながら取り扱うようにする。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

朝起きてみると、庭に一りんの
花がさいていました。それは、ふ
くじゅ草というお正月を祝う花
だとお母さんが教えてくれました。

11 次の文章の——線部は何を指
していますか。文章中より書き抜
きましょう。

【出典】
復習シート
第四学年国語
11

○ 調査問題

(2)

3

³花火大会が ⁴行われる。

今年も

¹荒川の ²土手で

次の文の 線部の言葉がくわしくしている言葉を、1〜4の中からそれぞれ一つ選びましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

「修飾・被修飾の関係を理解する」問題

【問題内容】 4つの言葉の中から被修飾語を選択する。

【作成の趣旨】 この問題は修飾と被修飾の関係を正しく理解する力が身に付いているかを見る問題である。この問題では、修飾語と被修飾語が離れて配置されているため、述語である被修飾語を見つけるには修飾語の働きや修飾・被修飾の関係を正しく理解し、配置場所にとらわれず判断する力が求められている。

○ 誤答分析

解答類型	1	2	3	④正答	無解答	その他
出題のねらい						
修飾・被修飾の関係を理解する	6.3%	10.6%	62.7%	18.8%	1.4%	0.2%

正答は18.8%と低い。修飾語の働きについて十分に理解していないと考えられる。さらに、この問題では、修飾語の「今年も」と被修飾語の「行われる」が文頭と文末に離れて配置されていたため、修飾・被修飾を位置関係で考え、一番離れた位置に述語として配置されていた正答を見つけることができなかったと考えられる。それに対して誤答の「花火大会が」を62.7%と多くの児童が選択している。修飾語と被修飾語をつなげると本来なら意味の通る文になるが、「今年も」「花火大会が」では意味が通らない。児童が「今年も」「花火大会」、または、「今年の」「花火大会」と意味が通るように自分で解釈して、意味が通らないことを判断できなかったと考えられる。

①修飾語は被修飾語を詳しくする働きであること、②必ずしも近くに配置されているわけではないこと、③修飾語と被修飾語をつなげると意味の通ることをしっかりと理解させたい。そして、実際に修飾語と他の言葉をつなげる活動を行い、文として「意味が通る」「意味が通らない」を判断できるようにさせたい。

○ 指導上のポイント

身近な文で修飾語と被修飾語の関係を理解させる指導

- 先生が食べた。の文をもとに、詳しくする言葉をグループで考えさせる。
- ① 先生 をくわしくしよう。 ② 食べた をくわしくしよう。

どんな先生？

やさしい
若い
かっこいい



おしゃれな
すてきな
楽しい

いつ

お昼に
少しずつ
ガツガツ
おいしそうに

どのように



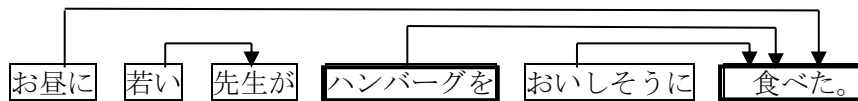
食べた

教室で
はしで
ハンバーグを
ラーメンを

どこで

何を

- ・ 詳しくしている言葉は修飾語であり、「先生」や「食べる」とつなげて、意味が通るようになることをおさえる。（やさしい先生・若い先生・教室で食べた・おいしそうに食べた）
- 児童が出した言葉をもとに、詳しい文を作り、修飾・被修飾の関係を矢印で表す。



- ・ 修飾語は被修飾語の前にくること、「食べた」の修飾語である「お昼に」が文頭にあるように

修飾語から離れた場所に修飾語が配置されていることがあることに気づかせる。

- 黒板の言葉を元にグループで「先生が食べる。」の文を詳しくし、矢印で関係を示す。
- 文の様子を実際に教師が動作にしてやってみる。
- ・ 「先生が食べた。」の文が詳しくする言葉（修飾語）によって全く違う様子を表すことに気づかせる。

修飾語と被修飾語の関係を判断させる指導

- 今年も 荒川の 土手で 花火大会が 行われる。

- ・ 修飾語と被修飾をとつなげると意味が通るようになることをおさえる。

- グループで言葉をつないで話し合う。

今年も 荒川の
何だか意味が
通らないな。



今年も 土手で
まだ続きそう。



今年も 花火大会が
「も」だとうまく
つながらないね。



今年も 行われ
る。
あっ、これなら意味

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

① わたしは
② 毎朝 仲良しの
③ 友だちと 登校する。()

① 手紙を わたしました。()
② わたしは、きのう 学校で 先生に
③ 一つ選びましょう。

⑥ 次の——線の言葉がくわしく
している言葉を①～④の中から
一つ選びましょう。

【出典】
復習シート
5年生・国語⑥

○ 調査問題

条件1 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。
条件2 一段落目には、資料①・資料②のうち、どちらの資料を使うのがよいと思うかを書くこと。
条件3 二段落目には、その資料を使用することにより何がどのようによくなるかを「川村さんのスピーチ」の内容について具体的に書くこと。

※ 解答は必ず解答用紙に書きましょう。左の原稿用紙は使っても使わなくてもかまいません。

資料①
他の小学校の「ろうかを走り回し」ための取り組み
・給食の時の放送で呼びかける
・校内にポスターをはる
・おたがいに注意をしよう

資料②
ろうかを走って人にぶつかったことはありますか
ある 400
ない 100

(3) 川村さんは「友だちの感想」を聞いて、さらによいスピーチするために、集めた資料を使用することにしました。あなたなら川村さんに、どちらの資料をすすめますか。また、選んだ資料を使うことによって、スピーチがどのようによくなると思いますが、あの条件にしたがって考えて書きましょう。

「ろうかを走らないようにするための工夫」と言われても、どんなものがあるのが具体的に思いつかないな。

ろうかを走ってぶつかったことのある人は本当に多いのかな。

川村さんは、ろうかを走ったことがありますか。ろうかを走るのはいけないことだとわかっていても、ついろうかを走ってしまい、あぶない目にあつたことのある人もいます。そういう人は結構多いのではないかと私は思います。

私は先日、友だちとの約束におくれそうだったので、あわててろうかを走ってしまいました。たまたま教室を出てきた下級生とぶつかってしまいました。私はなんともなかったのですが、ぶつかった下級生は転んで手足にあざを作っていました。

私はその時はじめて、ろうかを走ると、自分だけではなく、他の人もあぶない目に合わせてしまうことに気がつきました。そして、ろうかを走らないようにするための工夫が必要だと思いました。他の学校では、ろうかを走らないための工夫をみんなですべて具体的に考えて、実行しているそうです。私は、みんながろうかを走らないように気をつけて安全な学校生活を送れるといいと思います。

13 川村さんはクラスで発表するために、ろうかを走ることについてのスピーチを同じ班の友だちの前で練習しています。次の「川村さんのスピーチ」と「友だちの感想」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんのスピーチ】

○ 調査問題の趣旨・内容

「目的に応じて理由をあげながら自分の考えを明確に書く」問題

【問題内容】 付け加えた資料によって、スピーチに生じる効果を二段落構成で書く。

【作成の趣旨】 この問題は、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く力がついているかを見る問題である。この問題のポイントは、第一段落には選択した資料、第二段落には選択した資料がスピーチに与える効果、という構成で記述することであり、条件に合わせて自分の考えを書く力が求められる。

また、「どのようによくなると思うかを考えて書く。」という設問に正対した記述ができるかが、ポイントとなる。

○ 誤答分析

解答類型 出題のねらい	① 正答	2 二段落構成 でない	3 行数、段落構 成等の条件を 満たしていな い	4 理由が書け ていない	無回答	その他
言葉の意味を理解し、物語の出来事を読み取る	30.9%	5.3%	0.7%	28.0%	9.2%	25.9%

正答の条件は、次の(1)～(5)である。(1)どちらの資料を使うのがよいと思うかを書いている。(2)選んだ資料により、何がどのようによくなるかを書いている。(3)二段落構成。(4)六行以上、八行以内。(5)一段落目にどちらの資料がよいと思うかを、二段落目に何がどのくらいよくなるかを書いている。

その他の誤答で最も多かったのは、資料を適切に選んでいるが、形式(行数または段落)に不備がある。

○ 指導上のポイント

根拠となる資料をもとに理由や事例を挙げて書くための指導

スピーチをしたり意見文を書いたりするときに自分の考えの根拠となる資料を挙げると、相手にとって理解しやすくなる。児童が資料の効果を意識し、図や表、グラフなど効果的な資料を選択する習慣をつけられるような指導が大切である。また、資料活用が主な学習内容となる単元だけでなく、説明的文章で資料の効果をとらえたり、社会科や理科の資料を読み取ったりする際にも、適切な資料を選択することを意識させたい。

【指導事例】

○○のひみつを調べて発表しよう 調べてわかったことを効果的に資料を使って発表する

①テーマから、伝えたいことの本質を考える。

②必要な資料を集める。

- ・インターネットや本などによる調査
- ・アンケート、インタビューによる調査

③資料を選ぶ。

- ・集めた資料を一覧にする。
- ・必要な資料を選ぶ。

④発表の内容を考える。

- ・発表の中心となる柱を決める。
 - ・内容に沿った分かりやすい資料を作る。
 - ・構成を考える。
- (内容の配列・順序、時間配分)

⑤発表の工夫について考える。

- ・説明する言葉の分かりやすさ

⑥発表の練習を行い、内容や方法を見直す。

⑦発表会を行い、意見交流をする。

- ・適切な資料活用についての交流

○ペアやグループで資料選択について話し合う場面を設定する。

〈資料を選ぶ観点〉

- ・伝えたい内容に合っているもの
- ・見やすさ(色、大きさ、図、グラフ)
- ・資料活用による効果

○資料活用の効果や資料選択の理由を書いたり話したりする場面を設定し、資料を用いる良さに気づかせる。

○色や文字の大きさ、資料の形式などについて比較し、より分かりやすいグラフや表が選択できるようにする。

日常的な取り組み

○自分の考えを二段落構成で書かせる。

一段落目：自分の考え 二段落目：理由

一段落目：自分の考え 二段落目：根拠となる資料

一段落目：文章の要約 二段落目：自分の考え

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

復習問題

資料を読み取り、条件に合わせて書く問題

六年一組の高野さんの学校では、健康な生活のために「朝お早起きごはん」運動を取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、生徒のみんなに伝えることに決めました。次は、高野さんが書いている「報告文の一部」です。これよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文の一部】

○「朝お早起き活動」のまとめ

1 成果

アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。

(図1)のように、活動を始める前の五月の時点では「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎても起きている人の割合が全国平均を上回り、早ねができていないといえませんでした。それが半年間の活動後は、夜十時までに起る人の割合が

その理由として、(表1)から、成長に大事なもの

みんなを十分に育てるために、夜十時までは寝ましょう」という保健室の先生のお話もみんなの心に響いたのだと考えます。他にも、春休みの過ごし方として、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に毎日早起きできたかを記録する活動を行ったこともあげられます。

2 課題

成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今朝の活動では改善できず、これから解決していきたい課題があることが分かりました。

課題は(図2)から分かるように、

この課題を解決するためには

テレビやゲームの時間、メールやSNSの時間、読書の時間を減らし、睡眠の時間を増やすことが必要です。

3 解決方法

そこで、わたしたちは多くの人が取り組める次のような解決方法を考えました。

・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。

・今回は、これらの解決方法に取り組み、いきなりの活動方法について考えたいと思います。

(表2)から分かります。

○「朝お早起き活動」について

5 (報告文が続く)

二 高野さんは「2 課題」を受け、多くの人が取り組める方法を考え、「3 解決方法」を

書いて書いて、

○の中に入る内容に次の条件に当てはまるように書き添えて

条件

○「表2」の結果から考えて書くこと。

○「テレビやゲーム」「メールやSNS」の両方の時間を減らすこと。

○二十五歳以上、五十歳以内の人の割合について

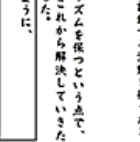
※○の中からは書き添えず、○の中からは行を空かすように、続けて書き添えてください。

出典 (平成二十八年年度全国学力・学習状況調査)



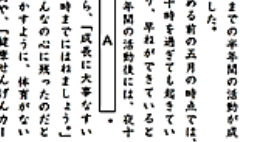
次の日に学校がある日は、おどれ何時ごろに起りますか。

夜十時を過ぎても起きる人	25.4	23.3	23.7	25.9
夜十時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9
夜九時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9
夜八時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9



おどれ何時ごろに起りますか。

夜十時を過ぎても起きる人	25.4	23.3	23.7	25.9
夜十時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9
夜九時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9
夜八時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9



次の日に学校がある日は、おどれ何時ごろに起りますか。

夜十時を過ぎても起きる人	25.4	23.3	23.7	25.9
夜十時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9
夜九時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9
夜八時までに起きる人	15.4	20.9	28.2	25.9